

Working Folder 連携機能を使う

HDL-HA シリーズ / HDL-H シリーズ Working Folder 連携パッケージ

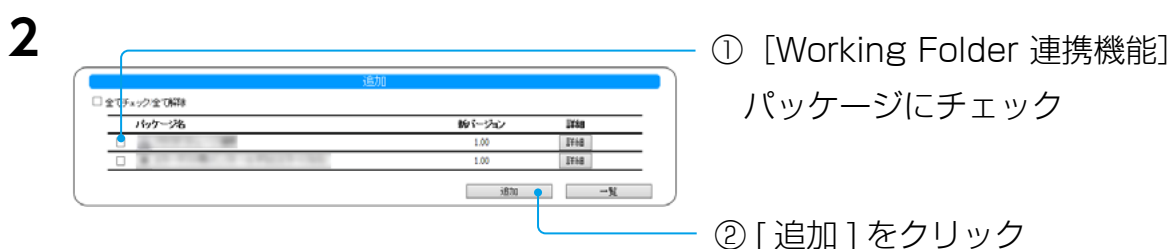
本パッケージ Ver1.11 の変更点

- HDL-HA シリーズ / HDL-H シリーズのバックアップおよびデータコピーの元、先の対象として、「Working Folder」が追加されました。
 - ※ HDL-HA シリーズ、F/W Ver.1.01 以降対応。
 - ※ HDL-H シリーズ、F/W Ver.3.10 以降対応。
 - ※ バックアップ方法は各マニュアルをご確認ください。

INDEX

Working Folder と連携するには	2
Working Folder との同期を有効にする	4
データコピー設定をする場合	5
バックアップ設定をする場合	6
更新状態を確認・変更する	7
ログ・お知らせ一覧	9

パッケージを追加する方法



これでパッケージが追加されます。

Working Folder と連携するには

本製品の共有フォルダーと、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社が運営するドキュメント共有を支援するクラウドサービス Working Folder のフォルダーを同期することができます。

※本機能をご利用いただくには、Working Folder 契約が必要です。また、本製品がインターネットに接続されている必要があります。

事前に、Working Folder のアカウントを取得してください。

Working Folder とは

Working Folder は、インターネット上のデータセンターを月額課金制でご利用いただけるサービスなので、自社でサーバーを構築するよりも手軽に導入でき、システム管理者がいなくても安心して運用できます。

詳しくは以下のサイトをご確認ください。

<https://www.fujifilm.com/fb/product/software/workingfolder/>

ご注意

- 他のクラウドストレージ連携の同期対象に設定した共有フォルダーを本機能の対象に設定しないでください。
- 本機能を有効にした共有フォルダー内のファイルを直接編集しないでください。
※編集中に一時ファイルを作るソフトで編集している場合、その一時ファイルまでアップロードされます。
- 同期する前に本製品の時刻設定を NTP 同期有効（毎日同期有効）に設定してください。時刻がずれると正常に同期できなくなります。
- USB HDD は、専用フォーマットで共有モードの場合のみ同期が実行されます。
- 同期の通信において、プロキシ設定が必要な場合は、あらかじめプロキシ設定をしてください。方法は、【画面で見るマニュアル】をご覧ください。
- 同期により削除されたサーバー上のフォルダー・ファイルはサーバー上のごみ箱に移動されますが、自動で削除されませんので定期的にサーバー上のごみ箱を確認の上、削除してください。
- サーバー上に「個人ドロワー」という名前のドロワーを作成した場合、このドロワーと同期することはできません。
- アップロードされたファイル名と LAN DISK 上のファイル名の一部が異なる場合があります。（サーバー上のファイル名は、Unicode の NFC 形式によって正規化されるため。）
- ご利用中の共有フォルダーに対して Working Folder 連携を設定する場合、共有フォルダーに保存された全データの同期を完了するまでに時間がかかる場合があります。

保存方法を選ぶ

接続設定完了後、以下中から保存方法を選び、Working Folder との同期設定をおこないます。

- ・ファイル更新検知時に随時同期する場合
⇒ [【Working Folder との同期を有効にする】 \(4 ページ\)](#)
- ・スケジュールを組んでデータをコピーする場合
⇒ [【データコピー設定をする場合】 \(5 ページ\)](#)
- ・履歴を残しつつスケジュールを組んでバックアップする場合
⇒ [【バックアップ設定をする場合】 \(6 ページ\)](#)

Working Folder との同期を有効にする

- Working Folder と同期する本製品側のフォルダーを作成します。
※ [共有] → [フォルダー] → [追加] で作成できます。詳しくは、各マニュアルをご覧ください。

- 


設定画面を開き、[共有] → [方式] → [Working Folder] をクリック

- 
[追加] をクリック

- 
① 設定情報を入力
※設定内容は以下参照
- 
② [追加] をクリック
※同期可能な共有フォルダーの数は 10 個までです。

設定内容一覧

共有フォルダー名	同期をおこなう本製品内の共有フォルダー名を選択します。	
Working Folder 連携機能	Working Folder 連携機能を有効にする場合は、[有効]を選択します。	
ユーザー ID	Working Folder のユーザー ID を入力します。	
パスワード	Working Folder のパスワードを入力します。	
キャビネット番号	Working Folder のキャビネット番号を入力します。	
ドロワー名	同期をおこなう Working Folder 内のドロワー名を入力します。 例) 共有ドロワー xxx [一覧取得] をクリックすると、入力した情報をもとに Working Folder に接続し、ドロワー一覧を表示します。そこから目的のドロワーを選択できます。一覧が表示されない場合は、入力したユーザー ID、パスワード、キャビネット番号に間違いがないことをご確認ください。 ドロワー名として「個人ドロワー」と入力するか一覧から「個人ドロワー」を選択すると、サーバー上でユーザーごとに用意される「個人ドロワー」が対象となります。	
同期方向	双方向	アップロードに加えて、「ダウンロード更新監視間隔」に設定した時間単位 (1 ~ 24) でドロワーを監視し、更新があった場合は同期 (ダウンロード) をおこないます。 ※通常は [アップロードのみ] でご使用ください。[双方向] は別途設定が必要です。富士フイルムビジネスイノベーション担当営業までお問い合わせください。
	アップロードのみ	本製品内のフォルダーに更新があった場合のみ、アップロードします。(NAS → クラウドへの片方向同期となります)
	ダウンロード	ダウンロードするための監視間隔を 1 時間単位で設定します。
1 ファイルの最大アップロードサイズ	更新監視間隔	ファイルの最大アップロードサイズを MB 単位で入力します。(最大値 : 5120) ※最大アップロードサイズ以上のファイルはスキップします。

以上で、同期が有効になりました。

データコピー設定をする場合

ご注意

- Working Folder と組み合わせるデータコピーの対象はローカルを指定してください。
ローカル以外と組み合わせ設定をした場合、データコピーがエラーとなります。

1 設定画面トップから、[データバックアップ] → [データコピー] で [追加] をクリック

2 データコピーのジョブを設定する

- ・ データコピー先（または元）の [対象種別] から [Working Folder] を選ぶ
- ・ [接続情報] で Working Folder の接続設定を選ぶ
- ・ [フォルダー] で対象とするフォルダーを選ぶ
- ・ [サブフォルダー] では、対象フォルダー内のサブフォルダーを指定する場合のみサブフォルダーのパスを入力

※ その他の設定については、各マニュアルをご確認ください。

3 [保存] をクリック

以上で、データコピー設定は完了です。

バックアップ設定をする場合

ご注意

- バックアップ先を「クラウド名」とした場合、毎回フルバックアップが実行されます。データ量が多い場合にバックアップ完了まで時間がかかります。また、通信量が多くなります。
- Working Folder と組み合わせるバックアップの対象はローカルを指定してください。ローカル以外と組み合わせ設定をした場合、バックアップがエラーとなります。
- 履歴回数分全データが保存されるため、バックアップ先の使用容量にご注意ください。
- クラウドプランによっては、データ量や通信量による課金制の場合があります。履歴数やデータ量には十分ご注意ください。プラン等についてはクラウド運営会社へご確認ください。

1 設定画面トップから、[データバックアップ] → [バックアップ] で [追加] をクリック

2 バックアップのジョブを設定する

- ・バックアップ先（または元）の [対象種別] から [Working Folder] を選ぶ
- ・[接続情報] で Working Folder の接続設定を選ぶ
- ・[フォルダー] で対象とするフォルダーを選ぶ
- ・[サブフォルダー] では、対象フォルダー内のサブフォルダーを指定する場合のみサブフォルダーのパスを入力

※ その他の設定については、各マニュアルをご確認ください。

3 [保存] をクリック

以上で、バックアップ設定は完了です。

更新状態を確認・変更する

設定画面の [共有] → [方式] → [Working Folder] をクリックすると、一覧画面が表示されます。この画面から設定の確認と変更ができます。



共有フォルダー名	同期をおこなう本製品内のフォルダー名を表示します。
同期方向	[同期方向] の設定により、以下のように表示します。 アップロード [同期方向] を [アップロードのみ] にした場合 双方向 [同期方向] を [双方向] にした場合
ドロー名	同期をおこなう Working Folder 内のドロー名を表示します。
状態	同期の状態を表示します。
[設定変更] ボタン	設定内容を変更する場合にクリックします。
[設定削除] ボタン	設定を削除する場合にクリックします。
[ダウンロード] ボタン	現在の Working Folder 上のファイルと同期する場合にクリックします。

同期を無効にする場合

設定は保存し、機能を無効にする場合

- ・ [設定変更] ボタンをクリックし、[Working Folder 連携機能] を [無効] に設定する

設定を削除して、無効にする場合

- ・ 同期を解除する設定の [設定削除] をクリックする
- ・ 同期を解除する設定にチェックをつけ、[選択した設定削除] をクリックする

結果を確認する

本製品のログ記録用の共有フォルダー「LAN DISK Log」の「Working Folder」フォルダー以下に同期の結果を記録を残します。「[同期実行日時]_summary.log」というファイル名のログファイルで内容を確認してください。

失敗した場合は「[同期実行日時]_failed.log」というファイル名のログファイルで、内容を確認してください。

成功した場合は「[同期実行日時].log」というファイル名のログファイルも保存されます。

また、同期中に本機能の設定を追加や変更した場合や本製品を再起動した場合など、同期処理が中断された場合「[同期実行日時]_stopped.log」という名前のログファイルが保存されます。

「[同期実行日時].log」および「[同期実行日時]_stopped.log」というファイル名のログファイルはあわせて最大 10 個まで保存されます。それ以上のログファイルが保存される場合は、その中で最も古い実行日時のファイルが同じ実行日時の「(同期実行日時)_summary.log」と一緒に自動的に削除されます。

なお、「[同期実行日時]_failed.log」は自動的に削除されませんので必要に応じて削除してください。

(共有フォルダー「LAN DISK Log」へのアクセス方法は本製品の【画面で見るマニュアル】をご覧ください。)

■ログファイルの内容と対処：ログ内容を「Error」で検索し、検索された場合は対処をご覧ください。

ログ内容	意味	対処
InvalidIdentifierError	ユーザーがキャビネットに登録されていません。	サーバーの登録ユーザーを確認してください。
InvalidPasswordError	サーバーへのユーザー認証に失敗しています。	設定したユーザー ID、パスワードに間違いがないか確認してください。
NoEntryError	ファイルやフォルダーが見つかりません。	同期中にサーバー側の設定やファイル・フォルダーを変更しないようにしてください。

※次ページにつづきます。

結果を確認する (つづき)

ログ内容	意味	対処
SizeTooLargeError	アップロードファイルサイズの上限を超えています。	該当するファイルをアップロード元の共有フォルダーから別の場所に移動してください。
ExistsError	以下のうちいずれかに該当します。 <ul style="list-style-type: none"> ・アップロード元にあるファイルと同名のフォルダーがアップロード先のサーバーに存在します。 ・アップロード元にあるフォルダーと同名のファイルがアップロード先のサーバーに存在します。 ・ダウンロード元にあるファイルと同名のフォルダーがダウンロード先のサーバーに存在します。 ・ダウンロード元にあるフォルダーと同名のファイルがダウンロード先のサーバーに存在します。 	同名のファイル、フォルダーのうち片方の名称を変更してください。
NoSpaceError	以下のいずれかでファイル・フォルダー数またはファイルの合計サイズが制限値を超えています。 <ul style="list-style-type: none"> ・キャビネット ・ドロワー ・ドロワー以下のフォルダー 	サーバー側の制限値を超えているファイル・フォルダーの移動または削除が必要です。
NameTooLongError	ファイル名の長さが制限値を超えています。	該当するファイルの名称を変更してください。
PermissionError	ローカルの共有フォルダーまたはサーバー側に権限がないためファイル操作ができませんでした。	ローカルの共有フォルダーまたはサーバー側の権限設定を確認してください。
SessionQuotaExceeded	サーバーへの同時接続数が多すぎます。	本機以外に同じキャビネットでサーバーに接続している機器が存在するなら接続台数を減らすことを検討してください。
ForbiddenNameError	ファイル名が不正です。	該当するファイルの名称を変更してください。
NoRootEntryError	指定されたドロワーが見つかりません。	設定したドロワー名に間違いがないか確認してください。
TemporaryServerError	サーバー側で一時的にエラーが発生しています。	このエラーが繰り返し出る場合は、該当する同期設定をいったん無効にして時間を空けてから再度有効にしてください。

ログ・お知らせ一覧

※レベルが [情報] のメッセージコードは、システムログには表示されません。

※ SNMP トラップで送信されるメッセージコードには "-" は含まれません。

カテゴリ	メッセージコード	レベル	メッセージ	液晶表示	説明	お知らせ	メール通知	NarSuS通知	SNMPトラップ
Working Folder	6900-0001	情報	設定を追加しました。	-	設定追加が正常に完了した。	-	-	-	-
	6900-0002	情報	設定を変更しました。	-	設定変更が正常に完了した。	-	-	-	-
	6900-0003	情報	設定を削除しました。	-	設定削除が正常に完了した。	-	-	-	-
	6903-0000	警告	システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。	-	他の処理中のため、指定された処理をおこなえなかった。	-	-	-	-
	6904-0001	警告	設定追加に失敗しました。	-	設定追加に失敗した。	-	-	-	-
	6904-0002	警告	設定変更に失敗しました。	-	設定変更に失敗した。	-	-	-	-
	6904-0003	警告	設定削除に失敗しました。	-	設定削除に失敗した。	-	-	-	-
	6904-0010	警告	共有フォルダー名の同期に失敗しました。	○	共有フォルダーの同期に失敗した。	○	-	-	○
	6905-0000	警告	サーバーへのログインに失敗しました。	○	サーバーへのログインに失敗した。ユーザー ID かパスワードが間違っている可能性がある。	○	-	-	○
	6905-0001	警告	サーバーへの同時ログイン数が多すぎます。	○	サーバーへの同時ログイン数が多すぎる。	○	-	-	○
	6909-0000	警告	サーバーと通信できません。	○	サーバーとの通信でエラーが発生した。	○	-	-	○
	6909-0001	警告	サーバーで一時的なエラーが発生しました。	○	サーバーで一時的なエラーが発生した。	○	-	-	○
	6909-0002	警告	接続がタイムアウトしました。(共有フォルダー名)	○	サーバーとの接続がタイムアウトした。	○	-	-	○
	6910-0000	警告	ドロワーが存在しません。(ドロワー名)	○	同期対象のドロワーが存在しない。	○	-	-	○
	6910-0001	警告	共有フォルダーに空きがありません。(共有フォルダー名)	○	同期時に共有フォルダーに空きがない。	○	-	-	○
	6910-0002	警告	サーバーに空きがありません。	○	同期時にサーバーに空きがない。	○	-	-	○
	6910-0003	警告	ファイルまたはフォルダーが多すぎます。	○	ファイルまたはフォルダー数がサーバーの制限を超えている。	○	-	-	○
	6910-0004	警告	フォルダー名内のファイルまたはフォルダーが多すぎます。スキップします。	○	フォルダー内のファイルまたはフォルダーが多すぎるためスキップされた。	○	-	-	○
	6910-0005	警告	ファイルパスはアップロードできるサイズを超えています。スキップします。	○	ファイルのアップロードできるサイズを超えているためスキップされた。	○	-	-	○
	6910-0006	警告	ファイルパスは許可されていない名前です。スキップします。	○	ファイル名が許可されていない名前が長すぎるためスキップされた。	○	-	-	○
6910-0007	警告	サーバー側のアクセス権限がありません。スキップします。(ファイルパス)	○	サーバー側でファイルへのアクセス権限がないためスキップされた。	○	-	-	○	
6910-0008	警告	サーバー側でロックされています。スキップします。ファイルパス	○	ファイルがサーバー側でロックされているためスキップされた。スキップします。	○	-	-	○	
6910-0009	警告	ファイルパスを同期できません。スキップします。	○	ファイルが同期できなかったためスキップされた。	○	-	-	○	
6910-0010	警告	ファイルパスのパスが長すぎます。スキップします。	○	ファイルパスが長すぎるためスキップされた。	○	-	-	○	
6910-0011	警告	サーバー上で同名となるフォルダー・ファイルが存在します。スキップします。(ファイルパス)	○	サーバー上の変換により同名となるフォルダー・ファイルが存在するためスキップされた。	○	-	-	○	
6910-0012	警告	対象フォーマットではありません。(共有フォルダー名)	○	ボリュームが対象のフォーマットでない。	○	-	-	○	